

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会第2部会

区分	内容
テーマ・事業名	◆南区家族ふれ愛事業 ◆南区出会いの場づくり事業 【事業費予算 1,250千円】
事業目的・概要	◆南区家族ふれ愛事業の9年目として、映画上映会等と児童・生徒の絵画・川柳展を行い、「家族ふれ愛月間」のさらなる定着を図る。 ◆少子化対策、晩婚化・未婚化対策、定住化の促進を目的として、独身の男女を対象に、南区での出会いイベントを開催する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	◆南区家族ふれ愛事業 ○南区「家族ふれ愛月間」映画上映会等の開催 ■日時:令和2年11月8日(日) 午後2時00分から ■会場:白根学習館1階 ラスペックホール ■内容:「ママをやめてもいいですか!？」映画上映会 来場者数:105人 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展の開催 ■日時:令和2年11月1日(日)～11月18日(水) ■会場:白根学習館1階 交流広場 絵画展/標語・川柳展 展示総数:509点 ・(絵画)南区内小学校4年生の児童211人から出品された。 ・(標語・川柳)南区内中学校1年生の生徒298人から出品された。 ※地区文化祭、地域生活センターで絵画・川柳展示 展示箇所:臼井中、臼井小、大通地域生活センター、月湯農村環境改善センター ◆出会いの場づくり事業 ○「クリスマスパーティーinサルナート」の開催 ■日時:令和2年12月6日(日) 午後2時から ■会場:サルナート 参加者:男性20人、女性20人 ※6組のカップル誕生 ・クリスマスオーナメントづくりによる婚活イベントの実施。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	◆南区家族ふれ愛事業 【評価】 ○南区「家族ふれ愛月間」映画上映会 ・新型コロナウイルス感染症により、映画上映会の申し込み方法の変更や定員を例年の半数にするなど工夫をして開催することができた。 ・子育て世代を中心とした映画上映会を開催したが、依然として来場者の半数以上が60代以上であり、ターゲットに合わせた周知や広報が必要。 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展 ・区内小中学校から参加してもらっており、白根学習館会場だけでなく、各地域の文化祭でも展示してもらい、定着してきている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、参加校や参加人数、地区の文化祭も例年より少なかったが、アンケート結果からも「南区の家族はあたたかい」、「子どもたちのあたたかい家庭で育っている様子が伝わってきた」などの感想が寄せられ、家族のふれあいを意識づけるよい機会となっている。 ・参加賞を児童・生徒に合わせた実用的なものにしたところ、好評だった。 【課題及び今後の取組】 ・テーマ、目的、ターゲットを明確にしつつ映画上映会等の事業を継続していく。 ・来場者は高齢者がほとんどであるため、幅広い年齢層に働きかける工夫が必要である。 ・小学生の絵画出品については保護者や学校から負担の声も聞かれるため、対象や募集方法を見直しながら継続していく。 ・展示されていることを知らない保護者も多いので周知の工夫が必要である。 ◆出会いの場づくり事業 【評価】 ・実施内容や会場を変更し、例年女性参加者募集に苦戦していたが、定員を超える申し込みがあった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業内容に制限があったが(デザート会食時はセルフで着席するなど)、カップル数は6組と昨年度の4組を上回ることができた。 ・参加者アンケートからは、「素敵なパーティーだった」という感想が寄せられた一方で、「参加年齢をもう少し高く設定してほしい」などの意見もあり、対象年齢や内容についてさらなる検討が必要。カップル成立数も昨年度4組、今年度6組と成果は順調であり継続していきたい。 ・申し込み数が年々増加しているため、結婚に前向きになっている傾向が見受けられる。 【課題及び今後の取組】 ・定員は超えたものの、依然として女性の応募は男性の応募に比べ下回るため、カップル数を上げるための内容の工夫が必要である。
備考	